

# 福祉生活病院常任委員会資料

(令和4年7月21日)

## 【件名】

- 新型コロナウイルス感染症への対応について  
(新型コロナウイルス感染症対策推進課) . . . 2
- 新型コロナウイルス感染症陽性者に係る HER-SYS(ハーシス)ID 及び  
名前の漏えいと対応等について  
(新型コロナウイルス感染症対策推進課) . . . 4
- 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について  
(新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム) . . . 6

新型コロナウイルス感染症対策本部事務局

# 新型コロナウイルス感染症への対応について

令和4年7月21日  
新型コロナウイルス感染症対策推進課

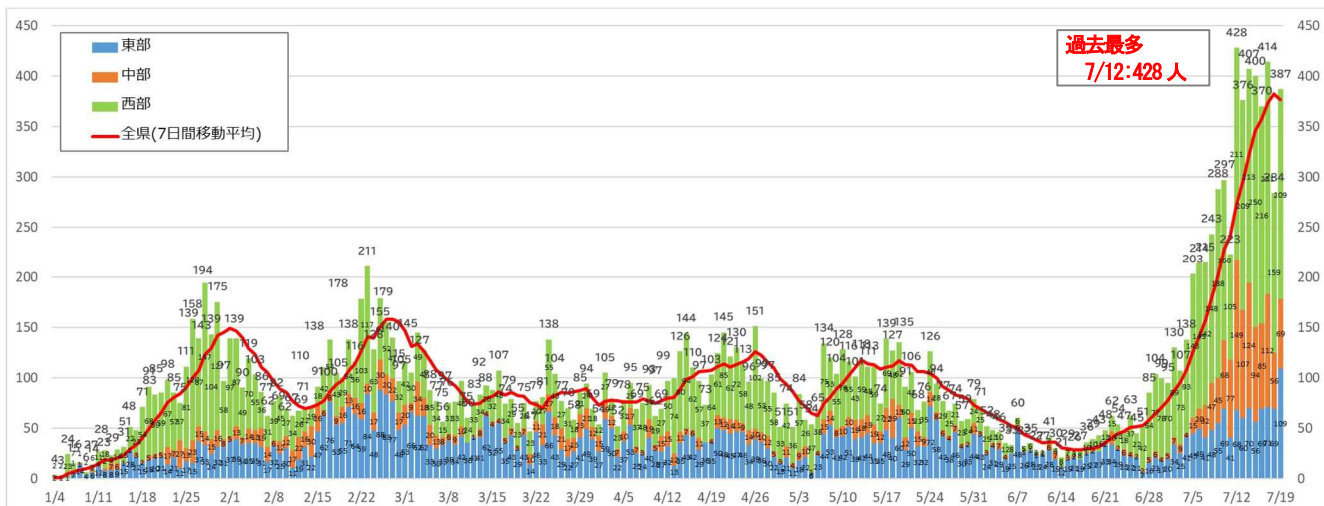
## 1 県内における感染者の発生状況

(1) 第6波以降の感染者数（令和4年1月4日～7月19日、発表日ベース）

20,101名（鳥取市保健所7,087名・倉吉保健所2,895名・米子保健所10,119名）

（参考）累計感染者数 21,770名（鳥取市保健所7,849名・倉吉保健所3,089名・米子保健所10,832名）

＜新規感染者数の推移＞



＜年代別等による内訳＞ ※一部項目を確認中の者あり（合計は一致しない）

年代	10代以下	20～30代	40～50代	60～70代	80代以上	
	6836	5653	4836	2083	693	
性別	男	女				
	9983	10118				
居住地別	鳥取市	岩美郡・八頭郡	倉吉市	東伯郡		
	6198	746	1316	1538		
	米子市	境港市	西伯郡・日野郡	県外		
	7244	1180	1493	382		
既陽性者との接触	有		無	不明		
	県内陽性者	県外陽性者				
	13890	187	6020	0		
国外・県外移動歴	有		無	不明		
	2232	17807	58			
ワクチン接種	未接種	1回目	2回目	3回目	4回目	不明
	7591	184	8426	3467	8	422
推定感染経路(場所)	家庭	職場	飲食店・会食	教育機関・児童福祉施設	その他	不明
	8712	1197	500	2225	2677	4786

(2) 第6波以降のクラスター発生状況（令和4年7月19日現在、発表日ベース）

区分	鳥取市	倉吉	米子	分類計	(参考) 累計発生件数
学校・保育所等	26	20	46	92 (49%)	98 (45%)
高齢者施設	9	2	13	24 (13%)	26 (12%)
事業所	12	4	13	29 (15%)	32 (15%)
飲食店	5	1	2	8 (4%)	20 (9%)
その他	14	2	19	35 (19%)	40 (19%)
管内計	66 (35%)	29 (15%)	93 (50%)	188 (100%)	216 (100%)

(3) 第6波以降死亡者数（令和4年7月19日現在、発表日ベース）※括弧内は累計死亡者数

死亡	うち新型コロナウイルス感染症を死因とする死亡
15 (20)	3 (8)

## 2 各種要請・警報の発令状況（令和4年7月19日現在）

### (1) 特措法第24条第9項による協力要請

「BA.5・第7波特別対策プロジェクト」への協力要請

区 域 鳥取県全域

期 間 令和4年7月7日から7月31日まで

要請内容

- ・検温など体調把握に努め、体調が悪いときは登校・出勤等を控え医療機関を受診
- ・飛沫を意識したメリハリのあるマスク着用
- ・エアコン使用時は定期的な窓開け換気
- ・職場、飲食、学校生活、友人との会合等、感染防止対策の徹底
- ・こまめな手洗い、消毒、換気などの基本的な感染防止対策の徹底
- ・検温など体調把握に努め、自身だけでなく家族に体調不良者がいる場合も登校・出勤等を控える
- ・感染不安がある方は積極的に無料検査を受検
- ・県外往来された際は、帰県後1週間は感染リスクの高い場所を避ける

### (2) 鳥取県版新型コロナ警報

(令和4年7月19日現在)

地域	発令状況	備考
東部	—	
中部	—	
西部	警報	7月18日～

### (3) 新規陽性者の動向を踏まえた注意喚起情報

(令和4年7月19日現在)

地域	発出状況	備考
東部	感染拡大注意情報	5月26日～
中部	感染拡大警戒情報	7月11日～
西部	感染拡大警戒情報	7月4日～

### (4) 「レベル分類」の本県独自の判断指標状況

(令和4年7月19日現在)

○本県のレベル：レベル2

○判断指標（算定基準日：令和4年7月18日、直近1週間：令和4年7月12日～18日）

指標	数値	算式
新規陽性者数(対人口10万人/週)	476.7人	2,638人/55.3万人×10万人
確保病床使用率(※)	26.3%	92床/350床
重症者用確保病床使用率	0.0%	0床/47床

※他県で確認された陽性者が使用する数を含む場合があります。

# 新型コロナウイルス感染症陽性者に係る HER-SYS(ハースIS) ID 及び名前の漏えいと対応等について

令和4年7月21日  
新型コロナウイルス感染症対策推進課

新型コロナウイルス感染症陽性者に対して、(※) HER-SYS (以下「ハースIS」という。) を利用した健康観察を依頼する通知をメール送信する際、誤って第三者の電話番号に送信する事案が2件、健康観察終了の通知を別の陽性者に送信する事案が1件、それぞれ発生しました。

事案判明後は、該当者に今回の経緯の説明と謝罪を行うとともに、メール送信先の相手方にも、誤送信に対する謝罪及びメール削除を依頼しました。

今後は、同様の事案が起きないように再発防止策を講じて、個人情報の適切な管理に努めていきます。

(※) 厚生労働省が開発した新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム。患者及び濃厚接触者に関する情報を保健所や医療機関などの関係者間で情報共有・把握の迅速化を図るために2020年5月より運用。

## 1 事案の概要

### <事案1>

#### (1) 事実判明日時

令和4年7月6日(水) 午後9時20分頃

#### (2) 経緯

担当職員がハースISで陽性者家族(計4名)に対して健康観察を依頼する通知をメール送信する際、2名分について誤った電話番号に送信。その後、3人目に送信する際に電話番号の誤りに気づき誤送信が判明したものを。

#### (3) 流出した情報及び件数

陽性者のハースIS ID及び名前(※氏名ではなく下の名前のみ) 2名分

※ハースIS IDのみではハースISにログインすることは出来ず(同時に陽性者の生年月日の入力が必要)、ハースIS IDの流出をもって直ちに個人情報の漏洩につながるものではない。

#### (4) 原因

相手方にメール送信する際は、事前に本人に架電し、メール送信する電話番号を口頭確認した上で送信することとしているが、本事案ではハースISに登録された電話番号ではなく、別資料(聞取り票)の電話番号を見て相手方に確認をおこなったため、ハースISに登録された電話番号の誤りに気付くことができなかった。

#### (5) メール誤送信に係る対応状況

- 7月7日(水) 午前10時30分頃、陽性者家族へ経緯を説明して謝罪し、今後の再発防止に努めることをお伝えし、了解を得た。
- 誤送信先の電話番号の相手方に複数回架電するが繋がらないため、誤送信に対する謝罪及びメールの削除依頼をショートメールにより送信した。
- 誤って送信したハースIS IDをシステム上削除し、再登録を行った。

#### (6) 具体的な被害報告

なし(7月21日(木) 時点)

### <事案2>

#### (1) 事実判明日時

令和4年7月8日(金) 午後1時頃

#### (2) 経緯

7月8日(金) 午後1時頃、当該陽性者からハースISの機能を活用した療養証明書の発行に関して問い合わせがあった。状況を確認したところ、県から健康観察の通知メールが届いていないことが発覚し、送信先電話番号に誤りがあったことが判明したものを。

なお、当該陽性者には6月28日(療養先調整中の段階)に電話連絡し、健康観察の通知メールを送信していたが、6月29日から宿泊療養施設に入所し、療養解除まで施設内で別途健康観察を受けていたため、ハースISによる健康観察は行っていなかった。

### (3) 流出した情報及び件数

陽性者のハース ID 及び名前（※氏名ではなく下の名前のみ） 1 名分

### (4) 原因

相手方にメール送信する際は、事前に本人に架電し、メール送信する電話番号を口頭確認した上で送信することとしているが、本事案ではハースに登録された電話番号ではなく、別資料（聞取り票）の電話番号を見て相手方に確認をおこなった可能性があり、ハースに登録された電話番号の誤りに気付くことができなかった。

### (5) メール誤送信に係る対応状況

- ・ 7月8日（金）午後1時30分頃、陽性者へ経緯を説明して謝罪し、今後の再発防止に努めることをお伝えし、了解を得た。
- ・ 同日午後5時30分頃、誤送信先の電話番号の相手方に、誤送信に対する謝罪及びメール削除を依頼しご理解いただいた。
- ・ 誤って送信したハース ID をシステム上削除し、再登録を行った。

### (6) 具体的な被害報告

なし（7月21日（木）時点）

## <事案3>

### (1) 事実判明日時

令和4年7月20日（水）午前9時頃

### (2) 経緯

7月20日（水）午前9時頃、在宅療養者（Aさん）から「ハースを利用した健康観察の終了（療養解除）をお知らせするメールが届いたが、別の陽性者（Bさん）の氏名が記載されている」との連絡が管轄保健所にあり、送信先電話番号に誤りがあったことが判明したものの。

### (3) 流出した情報及び件数

陽性者の氏名及びハース ID 1 名分

### (4) 原因

Aさんからハースに登録されたメールの送信先電話番号の変更の申し出を受け、これを変更する際、誤ってBさんのハース ID にAさんの電話番号を変更登録した可能性があり、誤って変更したことに気づかないまま、Bさんに健康観察終了のメールを送信したところ、Aさんに届いたものと推察された。

### (5) メール誤送信に係る対応状況

- ・ 7月20日（水）午前10時頃、Aさん及びBさんに経緯を説明して謝罪し、誤送信メールの削除を依頼するとともに、今後の再発防止に努めることをお伝えし了解を得た。
- ・ 誤って送信したハース ID をシステム上削除し、再登録を行った。

### (6) 具体的な被害報告

なし（7月21日（木）時点）

## 2 業務点検及び再発防止策

- ・ 7月8日（金）から9日（土）にかけて、ハースに登録された電話番号と聞取り票の電話番号を突合し、同様の事案が発生していないか点検を行ったところ、新たな漏洩は確認されなかった。
- ・ また、7月20日（水）に追加判明した事案も踏まえ、業務マニュアルを見直し、ハースに登録された電話番号と聞取り票の電話番号を突合してメール送信すること、ハースに登録された電話番号を変更する時はダブルチェックを徹底することを明記するとともに、メール送信する情報に名前を含めないこととした。
- ・ 本業務に従事する担当職員に対して本事案を周知し、業務マニュアルに従った作業実施を徹底するとともに、改めて個人情報の適正な取り扱いを行うよう注意喚起を行った。

# 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について

令和 4 年 7 月 21 日  
新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム

## 1 本県の接種状況

### (1) 県全体の接種状況

(7月18日時点)

全年代	1回接種者	2回接種者	3回接種者	4回接種者
総接種回数	444,290	439,050	345,108	22,647
人口当たり接種率	79.80%	78.85%	61.98%	4.07%

### (2) 年代別接種状況

(7月18日時点)

	1回目	2回目	3回目	対象人口 (住基全人口)	接種率 (1回目)	接種率 (2回目)	接種率 (3回目)
0～4歳	—	—	—	20,844	—	—	—
5～11歳	7,295	6,929	—	33,654	21.7%	20.6%	—
12～19歳	30,622	30,107	13,819	40,654	75.3%	74.1%	34.0%
20代	38,622	38,047	23,042	47,353	81.6%	80.3%	48.7%
30代	45,074	44,474	28,374	58,234	77.4%	76.4%	48.7%
40代	61,255	60,559	43,121	74,205	82.5%	81.6%	58.1%
50代	59,983	59,402	49,099	66,546	90.1%	89.3%	73.8%
60～64歳	32,493	32,209	29,265	37,030	87.7%	87.0%	79.0%
65～69歳	37,295	36,978	34,799	41,750	89.3%	88.6%	83.4%
70代	72,175	71,519	68,338	74,402	97.0%	96.1%	91.8%
80代以上	59,475	58,825	55,252	62,116	95.7%	94.7%	89.0%
合計	444,290	439,050	345,108	556,788	79.8%	78.9%	62.0%

※母集団となる人口データは、住民基本台帳年齢階級別人口（令和3年1月1日時点）を利用

## 2 3・4回目接種の促進

### (1) 4回目接種の対象者の拡充

7月14日、首相の記者会見で、重症化リスクのある高齢者を守るため、現在の60歳以上高齢者及び基礎疾患のある方等重症化しやすいと医師が判断した者に加え、全ての医療従事者及び高齢者施設の従事者（全国で約800万人、県内約3.2万人）を4回目接種の対象者とする方針が発表された。

7月22日の厚生科学審議会で専門家が議論した後、対象者及び接種時期等について正式決定される見込み。

本県では、対象者の拡充に伴う接種体制を医療機関及び市町村と連携し、速やかに接種できる体制を構築する。（通所施設ではワクチンバスの派遣等も活用）

⇒市町村営・県営会場に加え、公民館等身近な場所での接種会場の設置やワクチンバスの派遣等取組の横展開を図り、高齢者等の4回目接種を促進

(7/23 上灘コミュニティセンター、小鴨コミュニティセンター、7/28 若桜町公民館、7/29 米子産業体育館、8/6 美保南地区公民館など)

### (2) 若年層への3回目接種

#### ① 小中高への接種勧奨の取組

- ・ワクチン接種に関するチラシを作成し、市町村教育委員会を通じて小中学校、県教育委員会を通じて県立学校、子育て・人財局を通じて私立学校に対してそれぞれ配布。
- ・県内の高校に向いて職員が出前説明会を実施（6月10日から7月20日までに、東中西部で計10校実施済。そのほか7月中に3校実施予定。）

② ショッピングモールへの接種会場の設置

- ・ 6月25日（土）から週末に立ち寄りやすいイオンモール日吉津内に接種会場（3回目接種）を開設。（8月28日（日）まで土日祝日に実施）
- ・ 7月23日（土）からは5歳以上11歳以下の小児を対象とした接種も実施。（8月27日（土）まで夏休み期間中の毎週土曜日）

③ トップセールスの実施

- ・ 県庁各部局総動員体制で企業・団体、大学等の個別訪問や、トップセールスにより企業等と連携した従業員、学生への接種勧奨

④ 夜間接種の実施

- ・ 平日や土日も忙しい方向けに、県営会場において金曜の夜に接種会場を開設（6/17、7/15など月1回程度実施）

⑤ ワクチンバスの派遣

- ・ 希望される企業・団体・大学等に、ワクチンバスを派遣し3回目・4回目接種を実施している。  
⇒6月17日を皮切りに延べ32回（約430人）実施

3 予防接種法に基づく医療機関からの副反応疑い報告状況について

前回報告時（6月17日）より、副反応疑い報告件数が2件増加（ファイザー 69件→71件）

区 分	鳥取県（7月19日現在）			全国（6月12日現在）		
	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ
ワクチンの種類						
推定接種者数 （回分）	1,012,954回	215,269回	63回	217,795,396回	64,817,368回	117,366回
副反応疑い件数	71件 (0.007%)	5件 (0.002%)	0件 (0.000%)	29,080件 (0.013%)	5,022件 (0.008%)	16件 (0.014%)
うち死亡報告数	11件 (0.001%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	1,604件 (0.001%)	157件 (0.000%)	1件 (0.001%)
うちアナフィラキシー報告数	17件 (0.002%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	3,278件 (0.002%)	569件 (0.001%)	6件 (0.005%)

※本県の死亡報告及びアナフィラキシー件数については、前回報告時から変化なし